



# 東北アジア学術交流懇話会総会および 講演会「東北大学のロシア研究戦略」の開催



## 東北アジア学術交流懇話会総会

2010年5月7日10:00～10:30、東北大学東京分室において東北アジア学術交流懇話会総会が開催され、会員29名が出席した。総会では西澤潤一会長ご挨拶の後、佐藤源之理事長から平成21年度の活動報告、決算報告があり承認された。さらに22年度の予算案、活動計画、さらに総会と理事会の役割を変更する内容を含む会則の改正案についての説明があり、いずれも承認された。

### 議事

1. 平成21年度 活動報告
2. 平成21年度 決算報告
3. 平成22年度 予算案
4. 平成22年度 活動計画
5. 会則の変更について
6. その他

## 講演会「東北大学のロシア研究戦略」

総会後の10:40からは同会場で講演会「東北大学のロシア研究戦略」が開催された。本講演会は、東北大学が2009年度に文科省の国際化推進事業であるグローバル30の実施校として採択され、特にロシアにおける学術活動、大学との教育・活動の推進を目指していること、東北アジア研究センターが1997年にロシア・ノボシビルスクに東北大学初の海外拠点を開設し、ロシアにおける研究活動を活発に実施してきていることなどを背景に、今後、東北アジア研究センターと東北大学、また宮城県がいかに協力しながらロシアとの交流を進めるかについて、現状報告と今後の見通しについて講演する目的で企画されたものだった。本講演会は一般公開講演会として開催し、ロシアに深く関心を持つ50名以上の参加者があった。

最初の講演は「グローバル30プログラムと東北大学におけるロシア交流推進について」と題し、海外活動拠点の1つとして間もなく開所される東北大学ロシア代表事務所(モスクワ大学内)の近況について、開所準備のために向かったモスクワから帰国したばかりの東北大学 木島副学長から報告があった。その他、大学内の取り組みとして、英語による学位取得が可能なコースを学部にも新設するなど、現在東北大学で進められている留学生受入れ体制について、さらにモスクワ、ノボシビルスク、ウラジオストックに拠点を設けることで、ヨーロッパロシアからシベリア、極東地方および環日本海地域に至るまでを視野に入れた研究・教育協力体制の構築を目指す東北大学の今後の戦略について紹介された。

宮城県国際経済・交流課の千葉氏からは宮城県のロシア経済交流と今後の展開について、現在のカウンターパートナーであるニジェ



ゴロド州の概要および平成18年から開始された経済交流について、これまでの実績および5月中旬に控えた村井嘉浩知事のロシア訪問計画など、今後の展開について報告された。

佐藤センター長からは東北アジア研究センターの最近の活動について、センターの活動体制と研究・教育成果、これまでの活動で社会に提供してきた既存の共同利用機能を強化し、より貢献していくための今後の取り組みについて報告があった。最後は昨年10月にノボシビルスク国立大学で行われた訪問講座「日本とアジア」を中心に、センター内で行われているロシア関連の研究に関し岡副センター長から報告された。その中でも特に強調されたのは、訪問講座で明らかにな



なったロシア人学生の日本語能力の高さと学習意欲の高さだった。このような意欲的な留学生たちが日本で学ぶことにより、グローバル30の目的「留学生と切磋琢磨する環境の中で国際的に活躍できる高度な人材を養成すること」は達成されるのだろう。

質疑応答の場面では、これからの高等教育のあり方について、その責任は社会全体が負うべきであり、財政面のみならず教育現場の提供や教育への参加にもかなりの役割を社会自身が分担すること、それを、社会全体で自覚する必要がある。勿論、高等教育のあり方の議論を主導し、カリキュラムに責任を持つことは大学の役割であり、このことは留学生教育においても同様である。これからの大学は、社会の様々な分野からの貢献を可能とする仕組み作りを考えていくことも大切だろう、との指摘もなされた。また経済活動については、大手より中小企業や個人にこそ対ロシア交流支援は向けられるべきではないかなど、大学や宮城県の活動を評価しつつ時勢を見極めさらなる飛躍を求める意見であった。隣国ロシアが教育、研究、経済面において今後益々その重要性を増していくことは明らかである。社会の需要と期待に応えるべく邁進することが求められている。



#### 【講演会プログラム】

- 10:40～11:00 開会  
東北アジア学術交流懇話会 西澤潤一会長挨拶
- 11:00～12:40 講演（1件20分＋質疑5分）  
「グローバル30プログラムと東北大学におけるロシア交流推進について」  
木島明博 東北大学 副学長・ロシア交流推進室長  
「宮城県のロシア経済交流と今後の展開」  
千葉 章 宮城県国際経済・交流課 副参事兼課長補佐（総括担当）  
「東北アジア研究センターの最近の活動」  
佐藤源之 東北大学 東北アジア研究センター センター長  
「東北アジア研究センターにおけるロシア研究活動」  
岡 洋樹 東北大学 東北アジア研究センター 副センター長
- 12:40 閉会